



第1回 富山県

# がんゲノム医療研修会

日時: 2018年5月18日(金曜日) 午後6時~

会場: 富山大学附属病院 2階 臨床講義室2

対象: 富山県内の医師、歯科医師、看護師、薬剤師、  
その他がん診療に携わるすべての人

事前申込不要  
当日 直接  
お越しください

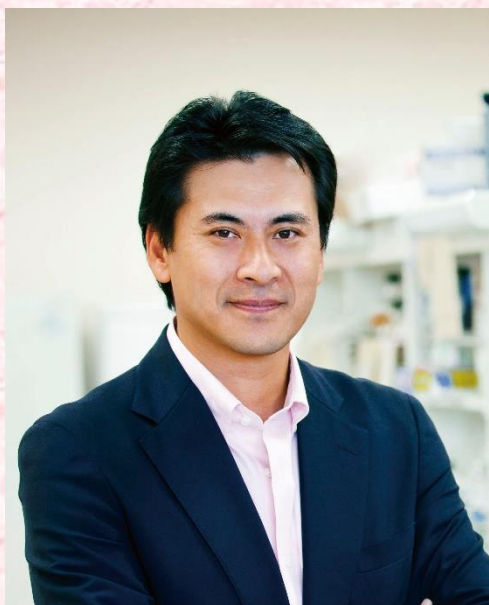
演題

## ゲノムバイオマーカー に基づくがん最適化医療

講師

国立がん研究センター先端医療開発センター  
トランスレーショナルインフォマティクス分野 分野長

土原 一哉 先生



ゲノム変異による細胞のがん化のメカニズムは基礎研究の領域に長くとどまっていたが、分子標的薬と次世代シーケンサーの登場により劇的に状況が変化した。多くの分子標的薬は変異により活性化した酵素を特異的に阻害することで臨床的効果を挙げる。変異プロファイルからの標的分子の検索はいまや治療選択に必須であり、効率がよく信頼性も高い各種の遺伝子検査パネルが開発され、米国での薬事承認に続き日本でも臨床的有用性が検討されている。さらにがんの変異プロファイルそのもの(tumor mutation burden)が免疫チェックポイント療法の有望な指標となることも示され、バイオマーカーとしてのゲノム情報の重要性はより増している。各国でがんゲノム検査とそれに基づく治療選択の実地診療への導入が図られている。日本では平成29年度末にがんゲノム医療中核拠点病院と連携病院が指定され、全国規模で良質なゲノム医療を提供する体制が始動した。検査前後の患者への十分な説明、適切な検体の準備、精度管理された検査、専門医による臓器横断的な診断、二次的所見としての生殖細胞系列変異への対応、臨床ゲノムデータの収集と活用など、広範な議論をもとに設計されたシステムは特に患者保護に重点を置いたものである。一方、ゲノム診断によって選択可能な承認薬の適応範囲はまだ限られており、治療機会の拡大が喫緊の課題である。

〈主催〉 富山大学附属病院集学的がん診療センター、北信がんプロ  
〈後援〉 富山県がん診療連携協議会



〈お問い合わせ先〉 富山大学附属病院 臨床腫瘍部(集学的がん診療センター)  
〒930-0194 富山市杉谷 2630 TEL:076-434-7808/FAX:076-434-5112